

「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」 — 「日本らしさ」を見つけてみよう—

対象：小3 道徳

ツール・機能：画面共有機能

分類：思考活動・協働活動

ICT活用のポイント

- ▶ 電子黒板に「日本らしさ」を数多く含んだ絵をカラーで表示し、児童の興味関心を高める。
- ▶ 「日本らしさ」を数多く含んだ絵を1人1台端末にも配信し、選んだ「日本らしい部分」を拡大し、わかりやすく発表させる。
- ▶ タブレットを家庭に持ち帰らせることで、日本らしさについて家の人と話す機会を作る。

学習の流れ

「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」－「日本らしさ」を見つけてみよう－

<本時のねらい>

身の回りの「日本らしさ」に目を向け、そのよさや自分との関わり、その中にある先人の思いを知ること、日本の文化や伝統に対して「これからも残ってほしい」という心情を育てる。

導入	展開	まとめ
<p>① 教材の中から、伝統的な「日本らしさ」を見つける。</p> <ul style="list-style-type: none">○どこの国かわかりますか？○自分のプリントに日本とわかるところを見つけ、丸で囲みましょう。○丸をつけたものを紹介しましょう。 【黒板に「日本らしさ」を数多く含んだ絵を掲示。同じものをプリントで配布。】	<p>② 「日本らしさ」には、長い伝統があることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none">○「日本らしさ」は、何年前から続いてきたのでしょうか。 【1年を1cmとした紙テープを使って長さを表現。】 <p>③ 伝統的な「日本らしさ」が減っていることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none">○丸印をつけた日本らしさの中で、減ってきているなあと思うものはないですか。 <p>④ 残ってほしい「日本らしさ」について考える。</p> <ul style="list-style-type: none">○この絵の「日本らしさ」の中で「これからも残ってほしい」と思うものはありませんか。 【電子黒板に「日本らしさ」を数多く含んだカラーの絵を表示。同じものを児童の端末にも配布し、各自の「残ってほしいもの」を拡大して、班やクラスのみんなに紹介。】 <p>⑤ 「日本らしさ」に対する自分の思いに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none">○「日本らしさ」が減っていくことは、みんなにとって嬉しい事ですか、悲しい事ですか。	<p>⑥ 自分の身近な人の思いにふれることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none">○家の人もこの絵の中で「残したい」と思うものがあるでしょうか。 【端末を持ち帰らせ、家族の話を話を聞くきっかけを作る。】 <div data-bbox="1933 765 2423 861" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>活用ポイント 【資料配布・表示機能】</p></div>

ここがポイント！

④電子黒板に「日本らしさ」
を数多く含んだ絵を表示。

わかりやすく、興味
関心が高まる。

印刷ではモノクロで
しか見せれない絵も、
カラーで表示できる。



ここがポイント！

④「日本らしさ」を数多く含んだカラーの絵を見童の端末にも配布。



手元で拡大して探すことができる。

ここがポイント！

④「残ってほしい日本らしさ」について、班やクラスで紹介。

グループ内で紹介。



クラスで紹介。



ここがポイント！

⑥端末を持ち帰って、家族の話聞くきっかけを作る。

家族にも「残したい日本らしさ」を聞いてみる。



持ち帰りの指導。

